



ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008
木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008
レインボー 佐倉市青菅1051 043-463-1128

sakurasenjuen@deluxe.ocn.ne.jp
kinomiya@green.ocn.ne.jp
s-rainbow@smile.ocn.ne.jp

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
平成16年度事業計画	2
千手園日記	2
木の宮学園	3
平成16年度事業計画	3
木の宮日記	3
さくら千手園拡張及び 大規模修繕工事	～5
アプローチ	6
地域生活を支える（その2）	6
お世話になりました	7
新任職員紹介	7
情報フラッシュ	8



八千代総合運動公園にて

散歩道

春という言葉を聞くと、特別な理由もないのに体を動かしたり、外に出て散歩をしたくなる事があります。冬が終わり、気温の上昇と共に気持ちまで上がっていくのかもしれない。

四月十四日、さくら千手園の今年度最初の行事であるハイキングが行われました。各個人のペースに合わせて、3つの行程で八千代市にある八千代総合運動公園を目指します。行き交う人達とのふれあいや桜の花を楽しみながら歩いてると約十キロの道のりもあっという間に通り過ぎてしまいます。目的地に到着すると、すぐに昼食の時間です。いつもと違う環境での食事は、また違った美味しさを感じられます。

午後からはあいにくの雨に見舞われ、最後までハイキングを楽しむ事はできませんでしたが、皆の顔には心地よい疲労と共に多くの笑顔が見られました。

四月に入り、新たな仲間、新たな環境での生活が始まりました。今後も利用者の笑顔で溢れるような施設を目指し、よりいっそうのサービスの充実に努めたいと思います。



さくら千手園

平成十六年度 事業計画

本年三月、園舎の大規模修繕及び拡張工事が竣工し、リニューアルされた園舎で快適な生活が始まりました。また、利用者の障害程度区分の決定も終了いたしました。本園の理念は、引き続きノーマライゼーションの理念に基づき人間としての尊厳や人権を守り、個々の暮らしやライフステージを大切に支援活動を行っていきます。

本年度は、利用者の個別支援計画の充実を図るため個々の障害内容や支援活動の見直しを行い、障害の軽減を図るために事例研究を積極的に行っていきます。

(入所者生活支援活動)

充実した暮らしと地域での生活を目指し、①生活面では、家庭的な雰囲気づくりに努め、週二日の休日と毎日入浴を行い、楽しめる喫食内容に心掛けます。②健康管理では、健康の維持・増進に努め、何か症状のある場合は早期通院・治療を行い、冬季にはインフルエンザ予防接種を実施します。③安全管理では、ニアミス報告書を活

用しケガや事故の防止に努めます。

- ④行事では、夏祭り・年忘れ会・親子宿泊旅行等の他、オプショナルで個別外出(二泊三日以内)を実施します。⑤作業では、働く喜びと社会人として必要なことを体得し、人格形成に役立つよう支援します。⑥個別プログラムでは、よが必要としているサービスを個々のニーズに合わせて実施します。⑦クラブ活動では、趣味の時間として豊かな暮らし方を学習します。⑧施設オンブズマンでは、第三者委員による苦情解決や施設サービスマンによる評価を行います。⑨保護者や地域住民との相互理解とボランティアの育成を図ります。

(在宅者生活支援活動)

入所更生施設としての機能を活用し、短期入所・ミニデイサービス・生活型配食サービス等の事業を行い、通所更生施設木の宮学園と協力し、地域の障害をもった人達の生活を支える福祉サービスの拠点としての役割を果たします。

(施設長 恵下 均)

千手園 日記

ちめきこんの旅

二月の暖かな日、皆さんの待ちに待った温泉旅行が始まりました。バス、電車を乗り継ぎ、いざ飛行機に乗ると皆さんの気分は最高潮！職員共々大いにはしゃぎました。佐倉は暖かかったのに対して松山は小雪が舞う程の寒さ！上着を一枚はおってホテルへ向かいました。夜は宴会をしたり、んびり温泉に浸かったり、皆さん思い思いに過ごしていたようです。

二日目はレンタカーに乗って一路香川県へ。有名な讃岐うどんを食べに行きました。あまりの美味しさに皆さんはとても感激していました。

焼きはまぐりを求めて

三月二十四日、我ら軽作業班のメンバーは九十九里へと向かった。お店に入るといけすに鯛や伊勢海老が元気に泳いでいる所をS・Sさんがじっと見つめていた。鉄板を火にかけておもむろにはまぐりを焼いていく。トングを持って職員がはまぐりの焼き加減を見ていると「僕もやりたい」とY・Iさんがはまぐりの焼き具合を確かめており、その横ではR・Iさんが網の上にある焼きおにぎりをとって口にほおばり「このおにぎりおいしいね」と絶賛していた。H・Iさんは飽きてきていたのかメニューのラーメンを指さし

そして最終日。坊ちゃん列車に乗れず、残念そうにいましたが「楽しかった。また来たいね」と話していました。(海老澤)



〈道後温泉〉



〈作業班外出〉

て、注文して欲しいような表情をしていた。そんな焼きはまぐりに舌鼓を打ち満足だった。(松田)

木の宮学園

平成十六年度 事業計画

支援費支給（利用契約）制度が一年も経過しないうちに「介護保険制度」への統合が囁かれ、厚労省内においてもいよいよ本格的な議論が始まっているようで、福祉制度の改革は益々激動の流れを加速させていきそうです。ただ、変えてはならないものが支援費制度の最大の柱である「本人主体・地域での安心な暮らし」の精神を貫かなければ何の意味もないことは言うまでもないことを確信しながら、次の各項目を主に取り組んで参ります。

①個別支援計画の定期的な見直しや経過の評価・報告等の一連の流れについて、本人及び家族に対する説明・承諾等のあり方（提示の仕方含む）を再検討していく。又、地域での活動プログラム（各種公共施設等の活用や地域の市民サークルに利用者が参加すること等）の機会を更に広げていくことを検討していく。

（日中活動支援部門担当）

②第三者委員制度のより充実した活用や定期ボランティア及び現場実習生によるモニタリング制度を

再検討し、より一層充実した内部チェック体制を強化すると共に第三者機関による評価について研修していく。又、一部改正される障害者基本法における障害者の権利保障等について内部研修を実施する。

（権利擁護支援部門担当）

③早急な課題として、千葉県地域福祉支援計画及び第三次障害者計画において明記されているとおり、本年九月を以て「地域療育等支援事業」はその名称がなくなり「中核地域生活支援センター」に吸収・統合される。現段階では詳細は明らかではないが現行の相談支援体制を後退させることのないように関係各機関と協議を重ねていく。又、市の委託事業として実施しているデイサービスを支援費での事業展開に切り換える準備をする。

（地域生活支援部門担当）

以上、各部門の主な取組みを通じ、施設も職員も地域の社会福祉資源としての自覚と視野を広げた知識をより一層高めていきたいと考えています。

（施設長 稲阪 稔）

木の宮日記

メモリアル

「当機はまもなく那覇空港に着いたします」青い海！青い空！期待して窓から外を見ると…大粒の雨…なんで！？気を取り直してレンタカーで回復した空を眺めつつ海岸沿いをドライブ。夕日が沈んでいく綺麗な海をバックにしはし休憩！太陽が沈めばお腹も空く。沖縄名物ソーキそば！お肉が軟らかく美味。ホテルはさすがリゾート地沖縄、バルコニーから臨む青い海、白い砂浜をバックに記念撮影！二日目からはわれらが誇る木の宮学園登山部の面々は万座毛・首里城・国際

素敵なバカンス

ここは南房パラダイス、季節は三月、総勢九名、広い園内、人も疎ら、ハウスの中には、花・草・木が私たち一行を迎えてくれる。そして、きれいな鳥達やチョウチョもやさしく迎えてくれて…なんとも心が体が洗われる様。そういうえば、昨日女性陣は2回もお風呂

に入り、手・足を伸ばしてゆつくり就寝。朝も、Hさんの「風呂にいこう」の掛け声で、展望風呂へ…全てがリフレッシュした気分、美味しい食事も堪能して、そして天気も快晴、心も快晴、な

通り・公設市場と歩き回る。さすがにお腹が空き石垣牛の鉄板焼き最高！！あつという間の二日間。今度は夏にまた沖縄皆でいきたいね。

（牧野）



んとも得した二日間を皆で過ごせた旅でした。帰りの車中は、皆満足した表情でウトウトと夢の中。どんな夢を見ていたのでしょうか？

（中野）



さくら千手園拡張及び大規模修繕工事 完成見取り図



①和室 japanese room



⑤食堂 dining room



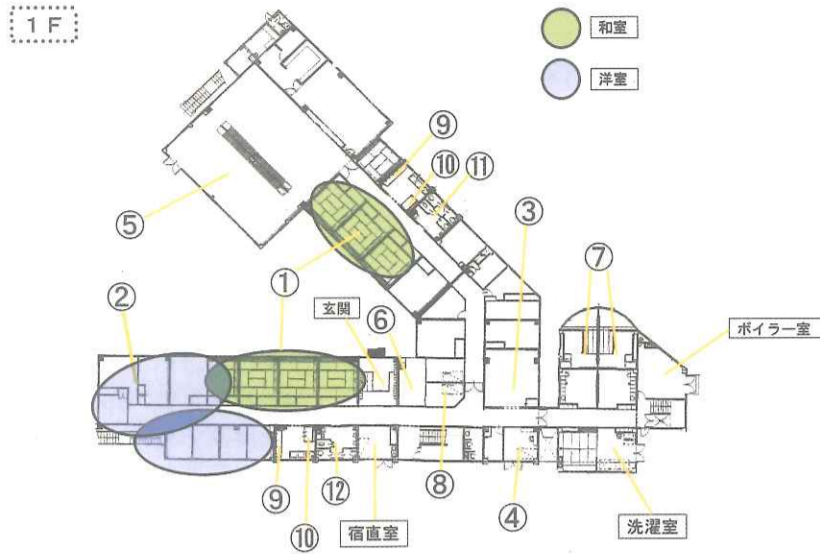
⑦浴室 bathroom



⑨洗面場 washroom



②洋室 western-style room



⑩シャワーブース shower room



③1階多目的ホール 1st floor hall



⑪女性トイレ toilet room



④カラオケルーム karaoke room



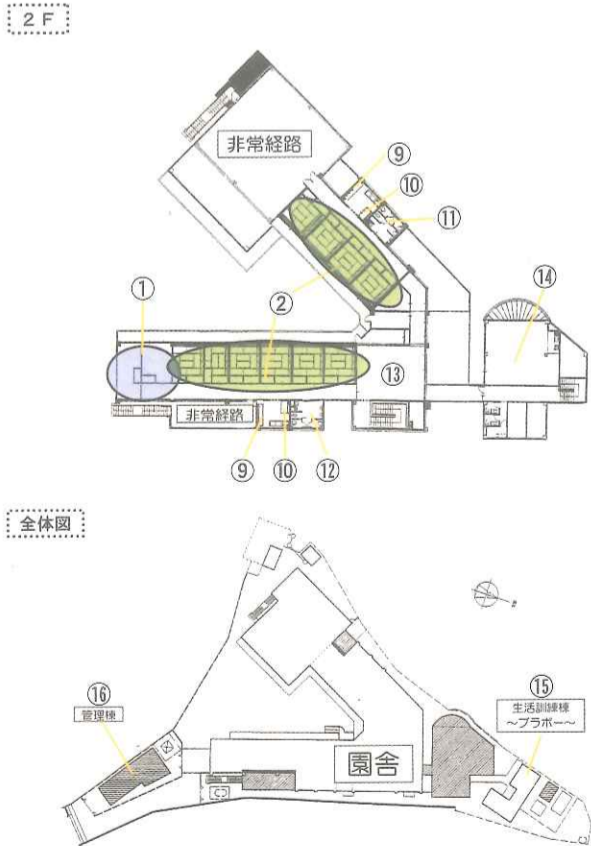
⑥医務室 medical room



⑧静養室 recuperation room



⑫男性トイレ toilet room



⑬2階多目的ホール 2nd floor hall



⑭支援員室 supporter's room



⑯管理棟

事務室 clerical room



⑮生活訓練棟

食堂 dining room

居間 living room



会議室 conference



園舎の拡張工事（八月十一日～十二月二十五日）及び大規模修繕工事（十二月十四日～三月十二日）に、多くの皆様にご協力をいただきましたこと衷心よりお礼申し上げます。お陰様で事故もなく無事完成し、リニューアルされた園舎での生活が始まっています。ここで、利用者等の皆さんから感想をいただきましたので紹介します。

「新築された浴場は、温泉気分と大好評。居室は和洋、私はこの部屋がいいと品定め。すべての部屋にはエアコン設備とテレビが完備。廊下は福祉フロアで転倒対策万全。改装されたトイレや洗面所はエアコン設備とシャワー付き。憩いの部屋でくつろいで、自動販売機と公衆電話があるので便利。大型洗濯機と乾燥機、二台買い換えコインランドリーみたい。中でも一番嬉しいのが本格的カラオケ設備、余暇やクラブ活動でフル活用。椅子でもすべてが可能、短期入所も増員されて、とてもとても良くなったネ。」

これで、一昨年の食堂の増改築工事も含め、園舎の大規模改善工事はすべて完了しました。今後は、支援活動に全力を尽くしてまいります。本当に有難うございました。

Approach

アプローチ=接近する・研究方法

地域生活を支援する(NPO) 印旛地区タウンミーティング開催

現在、千葉県では民間と行政が一体となって「健康福祉千葉方式」(①子ども、障害者、高齢者などの対象を横断的に捉えた施策を展開する。②施策の企画段階から当事者を含めた民間と行政が協働する。)に基づいた健康福祉施策を推進しています。

昨年三月に「健康福祉千葉方式を応援しよう!という人々の集い」が開催され、それ以降県内各地で「地域福祉支援計画タウンミーティング」が開催され県内から一万人近い人々が今の千葉の動きに参画されています。

一方、障害者福祉においても今年二月に第三次千葉県障害者計画の骨子案が作業部会の方々を中心にまとめられました。その案に対するタウンミーティングが四月に県内三ヶ所で開催されました。

地元印旛地区においても



四月十一日(日)に千葉敬愛短期大学において四八〇名の参加があり、会場は熱気の渦の中、パネラーやフロアーから積極的に意見交換がされ、「地域で学ぶ・働く・暮らす」をテーマにどうしたら安心して地域で過ごせるのか、参加者皆が真剣に考え、いかにして実現していくかが話し合われました。知的・身体・精神・視覚・聴覚等、ハンディを持つ当事者の方やその家族の方、またその方々を支援する人、県や市の職員、学校の

先生等、様々な立場の方々に参加頂き、本当に熱のこもったタウンミーティングとなりました。この熱気は一回で終わらせること無く、地域でネットワーク作りをどのように進めて行けば良いのか、皆が協力し合って生きていくためには地域に何が必要なのか今後も考えながらより安心して過ごせる街づくりに寄与して行きたいと思えます。今回、事務局として千手会が担当しましたが、参加者皆さんの温かいご協力があったて盛大に行うことができました。これからのこのつながりは大切にして行きたいと思えます。

概要報告

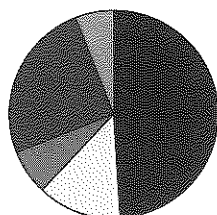
第三次千葉県障害者計画 印旛地区タウンミーティング

開催日 平成 16 年 4 月 11 日(日)
13:00 ~ 17:30
会場 千葉敬愛短期大学 205 号室
参加者

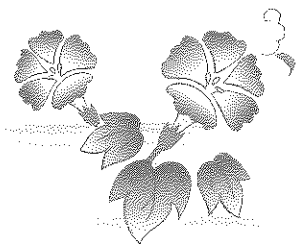
一般参加者	348
パネラー・県職員・市職員等	25
報道	6
手話・要約筆記	7
実行委員・ボランティア等	94
合計	480

地区別参加者割合

佐 倉	49%
四 街 道	13%
西 印 旛	7%
東 印 旛	25%
そ の 他	6%

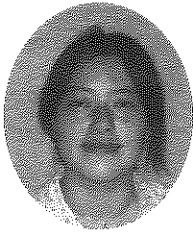


■ その他
■ 東印旛
■ 西印旛
■ 四街道
■ 佐倉



お世話になりました

初出勤の4月1日の朝、緊張しながら千手園の門をくぐった事を覚えていません。新人だった私は慣れない事ばかりでただただ必死に頑張っていました。失敗ばかりでいつも周りの方へ迷惑ばかり掛けては落ち込んでいました。



さくら千手園生活支援員
杉田 恵理

壁にぶつかっては悩む私に、時には厳しく叱り、また暖かく見守ってくれた周りの皆さんに助けられてここまで頑張ってきたと思っています。

また、毎朝笑顔で迎えてくれた利用者の皆さんにもたくさん元気をもらいました。

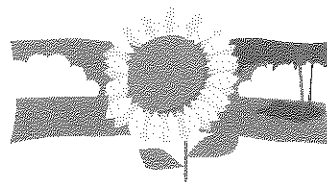
千手園で過ごした10年間を大切な経験と思い出としてこれからの生活に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

長い間お世話になりました。これからは少しでも以前の生活に近づける様に、あせらず前向きにリハビリを続けて生きて

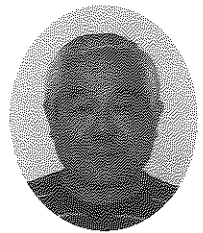


木の宮学園生活支援員
久島志津子

いと思っています。皆様にきちんとしたあいさつも出来ず、申し訳ありません。いつかどこかでお逢いする事もあるかと思っています。その時はお声をかけて下さい。お世話になりました。有りがとうございました。皆様お元気で。さようなら。



この度、開所以来17年間お世話になりました。千手園を3月31日付で定年退職致しました。在職中は皆様の温いご指

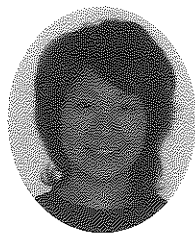


さくら千手園生活支援員
岩本 茂忠

導・ご支援をいただき毎日楽しく快適な勤務をすることができました。深く感謝を致しております。副園長という要職をいただきながら、果たして何をやってきたのかと自問自答をしています。今後は利用者の皆さんから頂いた何ものにも優る大切な思い出を時折偲びながら余生を過ごしたいと思っています。又園にしばしばお伺いしますのでよろしく願います。ありがとうございました。

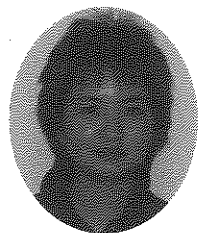
新任職員紹介

四月からさくら千手園で働くことになりました。2カ月が経ちましたが、まだ目の前の事しか見え、地に足つかずという感じです。自信を持って行動出来る事が少ないので、先輩たちを見習い、毎日学んで少しでも早く仕事に慣れたいと思います。たくさん迷惑をかけるかもしれませんがよろしくお願いします。



さくら千手園生活支援員
猪瀬 貴代

四月から千手園で、働きはじめ2ヶ月がたちました。本当におおかげさまで、ご迷惑をおかけしてばかりですが、少しずつ仕事にも慣れ、やっと周りが見える様になってきた所です。今後も、自分を見失うことのないように、一日一日を大切に一杯頑張っていきたいと思っております。



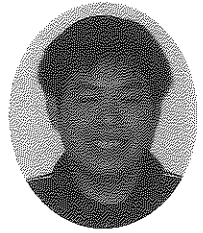
さくら千手園生活支援員
矢島 利恵

はじめまして、木の宮学園の職員でお世話になります福田尚哉です。以前にも同じ障害者施設に居ました。まだ、わからない部分もありまして、皆さんにご迷惑をおかけしてしまいますが、自分も勉強をして皆さんにわかってもらえるように努力します。これからもよろしく願います。



木の宮学園作業指導員
福田 尚哉

四月から支援課で働いている柳川大蔵です。私は以前特別養護老人ホームで働いていました。それまでは老人福祉のことしか知らず戸惑いましたが職員や利用者の方々に教えてもらいながら頑張っています。これから様々なことを覚え勉強し頑張りたいと思っています。宜しく願います。



さくら千手園作業指導員
柳川 大蔵

ご寄付に感謝いたします

伊藤忠建材株式会社様
共同募金会様
佐倉市更正保護婦人会様
観音寺 安田芳照様

いちおし作品（縫製班）

今回は木の宮学園「縫製班」新商品インテリアフレームの紹介です。

インテリアフレームとは、部屋をお洒落にする飾りでもあり、疲れた身体を癒してくれるアイテムでもあります。フレームはツールペイントで綺麗に装飾し、中を飾

- ⊕
- ⊕ ⊕
- ⊕ ⊕
- ⊕ ⊕ ⊕
- ⊕ ⊕ ⊕
- ⊕ ⊕ ⊕ ⊕
- ⊕

る物はドライフラワーやラベンダーなどのハーブを使用しています。

フレームの大きさは10cm×8cmと大変コンパクトに仕上げ、掛所をとらずに気軽に置いたり、掛けたりできます。又、少し大きめの物にはなりますが、高級タイ

ルを使用した豪華なフレームも用意しています。一〇〇円均一のお店と同じような商品が店頭に並んでいますが、私達のフレームの

押しは「手作り」です。一度、手に取って手作りの良さを感じてください。

さて、この新商品（インテリアフレーム）のお値段はワンコイン

行事予定

6 月

- 2~4日 グループ旅行②(浜名湖)
- 21~23日 個別外出(北海道)
- 30~7/2日 個別外出(金沢・名古屋)

7 月

- 27~28日 個別外出(ディズニーリゾート)
- 27~28日 ボランティア講座
- 22~23日 グループ旅行③(大洗)

8 月

- 7日 千手会夏まつり
- 23~24日 個別外出(海辺の温泉)

9 月

- 3日 総合防災訓練
- 9~10日 親子宿泊旅行
- 14~15日 千葉県ゆうあいピックソフトボール大会
- 28~29日 個別外出(銚子)

⊕：千手園 ⊕：木の宮学園



で購入できる「二〇〇円(税込み)」とお求め安くご提供していますので、あなたの部屋をお洒落にしてみたいかがでしょうか？皆様のご来園楽しみにお待ちしております。この他にも、手作りのパフクッション(五〇〇円〜)刺し子ふきん(三〇〇円〜)もご用意していますので、気軽にお立ち寄り下さい。(島田)

お世話になりました

岩本 茂忠(千手園生活支援員)
久島志津子(木の宮学園生活支援員)
杉田 恵理(千手園生活支援員)
小林 恵(千手園生活支援員)
山岸 真緒(木の宮学園作業指導員)

ご冥福をお祈りいたします

田中 宏さん(木の宮学園)

異 動

4月1日付 木の宮学園へ

仲田 洋

4月1日付 さくら千手園へ

保谷 高光

編集後記

近頃、低年齢層の犯罪が増え、とても怖い世の中になったなとつくづく思います。そうかと思えば、千手園では低年齢層のショートステイの方が増え、心から可愛らしいなと思ってしまう。子供が成長する上でとても大切な時期を一緒に過ごせる事は職員にとって、とても幸せを感じる今日この頃です。(長谷川)